

水戸黄門漫遊マラソンポスター

第10回水戸黄門漫遊マラソンのポスター制作に43名の学生が取り組みました。水戸黄門漫遊マラソンについて調べることから、ランナー、ボランティア、運営など関わる方の想いを考え、写真やイラストなどの表現でデザインしました。

実際に採用されたデザイン
3年 酒井 杏奈



水戸市役所にて学生作品展示の様子



プレゼンテーションの様子



NHK水戸放送局「トレンドハンター！ウィークエンダー！」企画・出演

NHK水戸放送局のテレビ番組にて学生たちは茨城県の魅力を発信する企画を考え、実際に出演しました。事前調査から実践演習、リハーサルや本番を経験しどのようにすれば視聴者に情報が伝わるのかを考えながら取り組み、多くの方が見る機会となりました。

事前調査



実践演習



本番の様子



イオンモール水戸内原クリスマスディスプレイデザイン

イオンモール水戸内原店内のクリスマスディスプレイのデザインを行いました。クリスマスツリーのデザインだけでなく、店内の装飾を含め提案し、実際に選ばれたデザインを元に制作・展示まで行われました。今年度は能登半島地震復興への願いを込めて、能登半島の海岸でとれる「さくら貝」をモチーフにツリーを制作しました。

2024.11.1 点灯式



レクチャーの様子



プレゼンテーションの様子



デザイン案



茨城県芸術祭美術展覧会

茨城県が主催する茨城県芸術祭は、7つの種目に分かれ、優れた芸術文化活動の成果を発表・展示する県内各地域で開催している展覧会です。日頃の学習成果を思う存分発揮し、個性あふれる作品を制作しています。

2024.10.4 茨城新聞

デザイン

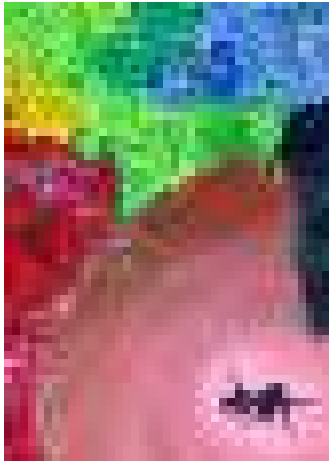
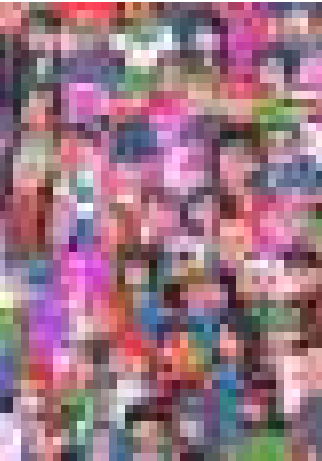
【入賞】
▽特賞 「祝福圖」佐藤紗織（笠間市）
▽優賞 「慧眼」川上理恵子（日立市）、「正体をあらわす前の」木村めぐみ（水戸市）

▽奨励賞 「Chain Reaction」石田裕之（那珂市）、「格闘ゲーム」Mew Storm」永井我玖（同）

【入選】
▽水戸市 五十嵐心人、上田拓海、大倉妃夏、木村厚子、小橋真奈、高橋菜摘、辻友紀子、豊原柚月、根本幸翼、山下勇貴、栢田悠吾
▽日立市 noricollm、石井穂乃花、石川恭央、川井雅樹、木津咲羅、熊谷稲子、佐川鈴音、高橋竜希、矢

内浩文、和田ほのか
▽石岡市 後藤華奈
▽常陸太田市 金田侑香里、長洲日菜子
▽高萩市 大内健道
▽北茨城市 佐藤ひなた、鈴木楓
▽つくば市 大槻衛子、福田唯真、吉永弘志
▽ひたちなか市 鬼澤千遥、神長ひなの、作間菜里、竹内紫音、深谷律己、村田愛奈、渡部遥
▽常陸大宮市 湖口天陽、柳下葵
▽那珂市 瀬合祐気、野上幸華
▽筑西市 篠塚真吾、谷島ともこ
▽桜川市 富田菜愛、細田亜友
▽茨城市 大村梨瑚
▽東海村 柏葉玲奈、酒井杏奈、豊田圭音
▽福島県 佐藤紅華

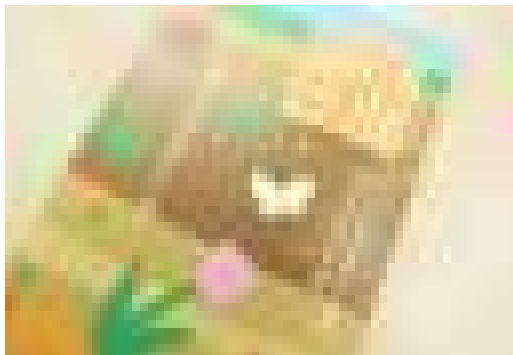
学生作品



第三十五回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞受賞

「第三十五回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」にて広告プロモーションデザイン学科3年6名「都道府県賞」鈴木聖和、「佳作特別賞」佐藤紅華、「佳作賞」立原大成、根本諒、黒崎流太、佐藤ひなたが受賞しました。

入選作品集掲載



都道府県賞 鈴木聖和 「わからないみつめる星に明日を聞く」

佳作特別賞 佐藤紅華 「鳥の耳まさかここにあったとは」



佳作賞 立原大成、根本諒、黒崎流太、佐藤ひなた

伊藤園	TOP	新俳句とは	審査基準	審査について	受賞作品	ギャラリー	お問い合わせ
思い出が煙になってのぼりゆく							茨城県 立原 大成 19歳
キムチ鍋突如暴れる口内炎							茨城県 根本 諒 20歳
神の社歓迎されたか紙垂揺れる							茨城県 黒崎 流太 20歳
深夜二時囁る背徳みそラーメン							茨城県 佐藤 ひなた 20歳

第1回建築と人とのつながり 写真コンテスト受賞

日本建築家協会関東甲信越支部茨城地域会主催、「第1回 建築と人とのつながり〜写真コンテスト」にて、広告プロモーションデザイン学科2年 大和田空が日本建築学会賞を受賞しました。3月16日(日)に授賞式が行なわれ、出席しました。

日本建築学会賞
2年 大和田 空 「路地裏と猫」



授賞式の様子



「痴漢抑止バッジ」デザイン公募、最優秀賞受賞

「第10回痴漢抑止バッジデザインコンテスト」デザイン公募、応募作品数91校628点の中から、広告プロモーションデザイン学科2年 太田心来「宣誓」が最優秀賞を受賞しました。バッジは、今春から希望者へ無料配布される予定です。

2025.2.4 産経新聞

地域で輝く

「意思が伝わる」専門家も高い評価

最優秀賞デザイン 太田心来さん(19)

電車やバス内で痴漢から身を守るためのバッジのデザインコンテスト(一般財団法人・痴漢抑止活動センター主催、警察庁など後援)で昨年、全国628の応募作の中で最優秀賞を獲得した。バッジは今春から希望者へ無料配布される予定で、「自分のデザインで痴漢がなくなるなど、いい影響が出れば」と期待する。

現在、専門学校文化デザイン学院(水戸市)広告プロモーションデザイン学科の2年生。将来デザイナーを目指す学生らを対象とするコンテストの実施を知り、応募を決めた。

自作のタイトルは「宣誓」。バッジには「痴漢は犯罪です」「私たちは泣き寝入りしません」の2つの文言を入れることになったおり、「そこから(意思が伝わる)」「宣誓」の言葉が浮かんだ。ストップの意味も込めて、手を広げく上げるデザインは割とすぐに決まった」と振り返る。

最優秀賞決定の知らせが聞いたのは、昨年12月上旬。びっくりしたけれど、うれしかったという。なすく、作品は痴漢抑止の啓蒙や更生を手がける専門家からも「意思を主張しているのが伝わっているデザイン」と高く評価された。第三者の介入を、(バッジで)伝えるのは難しいが、その点をクリアしている」と高い評価を受けた。

4月からは最終学年を迎える。卒業後はデザイン会社か印刷関係への就職を希望しており、「今回の受賞作を自分のポートフォリオ(実績をアピールするための作品集)に加えて、就職活動に生かしたい」と目を輝かせる。

(三浦優、芳真也)



いばらきデザインセレクション20周年記念特別講演会

いばらきデザインセレクション20周年記念特別講演「科学×デザイン」が2月22日(土)にイオンモール水戸内原1階メインコートにて開催されました。学生たちは大賞受賞「空庵」開発者である中川聡氏と審査委員長の原忠信氏のトークセッションを見学しました。



最優秀賞デザイン
テーマ「宣誓」

笠間焼を後世に繋いでいくための提案

250年の歴史がある笠間焼は、後継者不足・生活様式の変化による焼き物離れや販路の確保などの課題を抱えており、それらの課題を解決し次の250年に残していくことが求められています。
笠間焼を後世につないでいくための提案を3つのゼミに分かれ、提案を行いました。

笠間市「秋市」ワークショップの様子



笠間市プレゼンテーション



笠間市長賞・三年次最優秀賞作品賞
【地域デザインゼミ】3年 東矢 ゆりか、豊原 柚月、渡部 遥



茨城デザイン振興協会会長賞
【グラフィックデザイン実践ゼミ】3年 酒井 杏奈



2025. 3. 4 茨城新聞



【映像アニメーションゼミ】



県北の鉄道乗客を増やすためのPRキャラクターの提案

JR常磐線県北エリアの鉄道乗客を増やすためののキャラクターを制作しました。キャラクターだけでなくネーミングや考案したキャラクターを使用したツールを考え、実践的にデザイン制作を学びました。

常磐線県北エリアを楽しむイベント列車の提案

対象のエリアを目的地とした鉄道利用促進を目的として、地域資源や価値を掘り起こし、イベント列車の企画・旅のプラン、それに伴うグラフィックやアイテムを提案・制作し、高度なデザイン表現を学びました。

「高萩マルシェ」ワークショップの様子



笠間市プレゼンテーション



JR 東日本優秀賞
1年 鈴木 恋夏



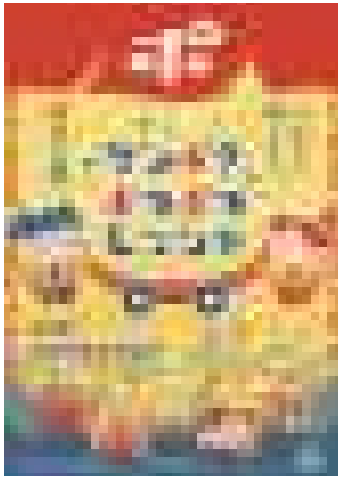
一年次最優秀作品賞
1年 山本 大翔



JR 東日本優秀賞
2年 入井 望来



二年次最優秀作品賞
2年 菊池 歩美



2024. 12. 4 茨城新聞



2025. 3. 3 茨城新聞



イオンモール水戸内原 ガーデンテラスリニューアル

イオンモール水戸内原2階にあるガーデンテラスのリニューアルに取り組みました。
「子供がワクワクする場所」というコンセプトを基に制作しました。完成披露イベントでは多くの方がワークショップに参加し、来館者の方と完成させました。

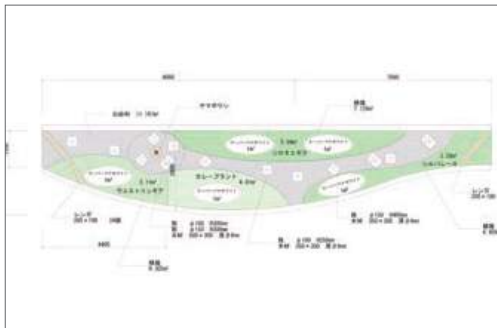
現地調査の様子



プレゼンテーションの様子



デザイン案



施工の様子



完成披露ワークショップの様子



ホームシックマーケット イベント看板制作

ホームシックスタイルショップ水戸店で開催の「ホームシックマーケット」のイベント看板をデザインしました。3チームに分かれ、「大人のロマン」「INFINITY INTERIOR」「American retro」をコンセプトに制作し、今後イベント時に活用いただけることになりました。

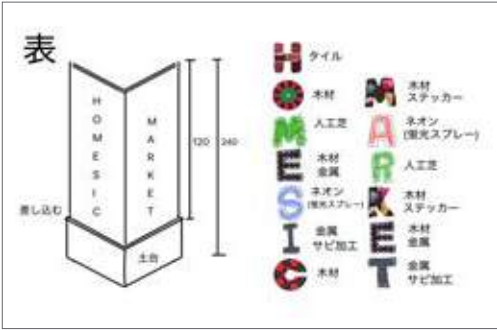
レクチャーの様子



プレゼンテーションの様子



デザイン案



制作の様子



納品の様子



コンクリートプランター制作

茨城県コンクリート製品協同組合の協力のもと、廃棄されるコンクリートを再利用し、プランターの制作に取り組みました。学生はデザインを考える所から始まり、プランターの制作まで行いました。校内のグリーンインテリアショップで販売をしています。

工場見学の様子



プレゼンテーションの様子



レクチャーの様子



完成デザイン



竹あかり制作ワークショップ

常陸大宮市辰ノ口地区にある放置竹林を整備し、間伐した竹を活用した竹あかり制作ワークショップに参加しました。制作した竹あかりや鞆灯籠はイベント「ひたち大宮 DRAGON BAMBOO 2025」で使用されました。



常陸太田市里美地区に旧酒蔵金波寒月を活用したコミュニティ施設の提案

常陸太田市里美地区は、築200年以上の歴史のある旧酒蔵「金波寒月」を中心に地域活性化を行っているが取り組むプレイヤーの高齢化も懸念されており、持続可能な地域のコミュニティ作りが求められています。そこで今後40～50年先を見据え、新たなプレイヤーを獲得し、内外をつなぐコミュニティ施設を提案しました。

常陸太田市長賞、茨城県建築士会賞
3年 坂本 吏玖



茨城県建築士事務所協会賞
3年 野村 友菜



第11回茨城学生建築展 奨励賞、日本建築家協会 関東甲信越支部茨城地域会賞
3年 石原 怜奈



旧金波寒月「So-Chiku#8」ワークショップの様子



常陸太田市プレゼンテーション



2025.3.4 茨城新聞



建築設計デザイン学科1・2年 修了制作2025

常陸太田市里美地区の潜在能力を引き出す移住住宅の提案

歴史ある旧酒蔵「金波寒月」を中心に地域活性化が進められ、市は移住にも力を入れています。そこで、大自然や歴史・文化、子育て支援などの強みを活かし、里美地区のポテンシャルを引き出す移住者向けの住まいを計画します。

常陸太田市長賞
1年 渡辺 陽大



茨城インテリアコーディネーター協会賞
1年 萩原 すず



一年次最優秀作品賞
1年 寺門 航大



常陸太田市鯨ヶ丘商店会に継続的に求められるくじら屋の提案

鯨ヶ丘商店会は、現状店舗数と商店会の利用者が比例して減少している問題があります。そこで、地域の魅力を活かし、新たな鯨ヶ丘商店会の面白さを伝えられることと街と店をつなぐ家具を考え、賑わいを創出し続ける新たな「くじら屋」を提案しました。

常陸太田市長賞、第11回茨城学生建築展 茨城新聞社賞
2年 松永 健太



茨城県建設業協会賞、二年次最優秀作品賞
2年 木崎 歩波



常陸太田市「さとみ秋の味覚祭」ワークショップの様子



鯨ヶ丘商店会「CANVAS vol.7」ワークショップの様子



2025.2.13 茨城新聞



常陸太田市プレゼンテーション



ファッションショー

ファッションビジネス学科の2、3年生が連携し、企画から衣装の制作、演出まで手掛けたファッションショーを開催しました。衣装は、学生一人一人がデザインから縫製まで、全て一人で行っています。イオンモール水戸内原にて、10月26日(土)、27日(日)に行われた「HALLOWEEN PARTY ミトウチ」にて2日間イベントを盛り上げました。

キービジュアル



今年度のテーマは『雨のち晴れ』。

天気には、はかり知れない無数の表情があり、日常的に目にする「天気」にコロコロ変化する「感情」を重ね、多彩な衣装で表現しました。

当日のイベントの様子



石崎製作所アップサイクルアクセサリデザイン

金属部品など製作する工場では毎日多くの廃材が生まれます。その廃材を利用して、ファッションビジネス学科3年生が新たなアップサイクルアクセサリを提案しました。イオンモール水戸内原にてテストマーケティング、販売&ワークショップを開催しました。

レクチャーの様子



プレゼンテーションの様子



デザイン案



テストマーケティングの様子



販売&ワークショップの様子



アパレルブランドファッションショー

9月21日(土)にイオンモール水戸内原で行なわれた『健康フェス2024×秋のファッションWEEK』でファッションショーに参加しました。館内にあるアパレルショップ「UNIQLO」「earth music&ecology」「Lovetoxic」「RAGEBLUE」の4ブランドの商品を使用して1年生がコーディネートを考え、当日はヘアメイクやスタイリングも学生が担当しました。

ヘアメイクの様子



当日のイベントの様子



ラフォーレ原宿特別講演会

2月27日(木)に株式会社ラフォーレ原宿代表取締役社長 荒川信雄氏、愛と狂気のマーケットリーダー 神田千穂氏にご来校いただき、特別講演会を開催しました。ラフォーレ原宿と言えば、ファッション好きは憧れのファッションビル。50年近くファッションの中心地で流行を作り出してきた歴史とこれからの未来について伺いました。



ファッションビジネス学科1・2年 修了制作2025

ファッションコーデPR作戦

リユース衣料を使用し、学生各個人が設定したテーマに沿って、高校生をメインターゲットとしたファッションコーディネート提案しました。また、新たなSNSマーケティングの需要に合わせ、コーディネートを紹介するプロモーション動画も制作しました。

古着マーケット賞
1年 安 美咲



一年次最優秀作品賞
1年 根本 実夏



古着マーケット賞
2年 海野 結音

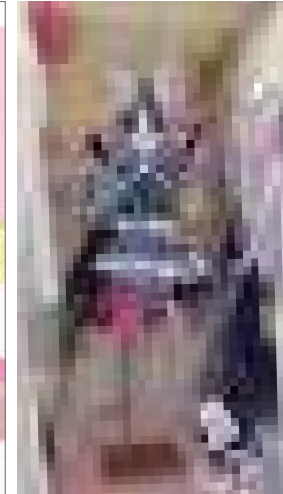


二年次最優秀作品賞
2年 八木澤 菜里



リメイクファッションとディスプレイ計画

リメイク衣料を中心としたディスプレイデザインを提案しました。各個人の考えるコンセプトに合わせ、リユース衣料をリメイクし、コーディネートしたマネキンを中心に、ヴィジュアル・プレゼンテーション（VP）空間を計画しました。



水戸オーバ・古着マーケットプレゼンテーション



ファッションコーデショップ開店

提案型のショップを計画・運営する。メインターゲットを高校生とし、リユース衣料をディスプレイ・販売するショップ空間の提案はもちろん、店舗の計画・運営についても学びました。
PRのためにライフスタイルを提案するブランドイメージブック制作・商品を紹介するWEBサイトの制作・ショップを盛り上げる為のイベント運営も行いました。

水戸オーバ賞、三年次最優秀作品賞
3年 寺門 寿莉



店頭ポスター



ワークショップポスター



水戸オーバ・古着マーケットプレゼンテーション



店舗名：共鳴シンパシー
場 所：水戸オーバ 5F アートシティホール



修了制作展2025 審査会

修了制作展2025は、2月8日(土)～16(日)に開催しました。2月8日(土)広告プロモーションデザイン学科、2月15日(土)ファッションビジネス学科、建築設計デザイン学科の審査会を開催し、広告・建築に関わる団体や講師の先生方及び卒業生に評価していただきました

広告プロモーションデザイン学科 審査会の様子



ファッションビジネス学科 審査会の様子



建築設計デザイン学科 審査会の様子



会期中会場の様子



第107回 卒業式

3月11日(火)に第107回卒業式、フェアウェルレセプション及びグラデュエーションパーティを水戸市民会館にて執り行いました。授賞式では、ジェームス英樹氏に司会、プレゼンターに講師の先生方にご尽力いただきました。

卒業式の様子



フェアウェルレセプションの様子



グラデュエーションパーティの様子

